



平成 20 年 4 月 25 日

各 位

会 社 名 イーピーエス株式会社  
代表者の 代表取締役社長 巖 浩  
役 職 氏 名  
(登録銘柄 コード番号：4282 東証一部)  
問い合わせ先 常務取締役 神宮 孝一  
電 話 番 号 03-5684-7797 (代表)

### 業績予想の修正に関するお知らせ

平成 20 年 9 月期中間（平成 19 年 10 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日）の業績及び平成 20 年 9 月期期末（平成 19 年 10 月 1 日～平成 20 年 9 月 30 日）の業績予想について、平成 19 年 11 月 8 日の決算短信において発表いたしました中間業績及び通期業績予想を下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

#### 記

#### I. 平成 20 年 9 月期中間業績

##### 1. 平成 20 年 9 月期中間業績予想の修正

##### (1) 中間期連結業績修正予想（平成 19 年 10 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益	1株当たり 当期純利益
期初予想 (A)	10,030	1,284	1,308	621	6,955 円 84 銭
今回修正予想 (B)	10,472	1,741	1,777	895	10,019 円 36 銭
増減額 (B-A)	442	457	469	274	—
増減率 (%)	4.4%増	35.6%増	35.9%増	44.1%増	—
(ご参考) 前年実績 (平成 19 年 9 月期中間)	8,472	1,329	1,352	630	7,052 円 63 銭

##### (2) 中間期個別業績修正予想（平成 19 年 10 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益	1株当たり 当期純利益
期初予想 (A)	5,863	815	912	492	5,509 円 22 銭
今回修正予想 (B)	6,280	1,126	1,251	724	8,103 円 30 銭
増減額 (B-A)	417	311	339	232	—
増減率 (%)	7.1%増	38.2%増	37.2%増	47.2%増	—
(ご参考) 前年実績 (平成 19 年 9 月期中間)	5,138	889	964	488	5,459 円 20 銭

## 2. 中間業績修正予想の理由

### (1) 連結業績修正予想の理由

当社グループにおいて、当中間連結売上高は10,472百万円（期初予想比4.4%増）と期初予想を若干上回りました。中間連結経常利益は1,777百万円（同比35.9%増）、中間連結純利益は895百万円（同比44.1%増）と、期初業績予想を大幅に上回りました。

その主な理由として、CRO事業を遂行している当社グループの主力業務であるモニタリング業務及びデータマネジメント業務が好調で、プロジェクトの進捗及び受託が順調に進んだことにより稼働率が向上し、期初予想を大幅に上回る業績（詳細は、個別業績修正予想の理由をご参照下さい。）となったこと、SMO事業を遂行しております株式会社イーピーメントにおいて、売上はほぼ予想どおりでありましたが、事務所別管理体制が整備され原価及び経費の管理が充実したことにより利益は期初予想を大幅に上回ったこと、ソフトウェア開発事業を遂行しておりますオーライソフトグループにおいて金融機関の大型受注案件が予想以上に進捗されたこと及びそれ以外のグループ会社の業績も概ね期初予想を上回ったことによります。

### (2) 個別業績修正予想の理由

当社の当中間売上高は6,280百万円（期初予想比7.1%増）と期初予想を上回り、経常利益につきましては1,251百万円（同比37.2%増）中間純利益は724百万円（同比47.2%増）となり、増収・大幅増益となりました。

その主な理由として、データマネジメント業務が堅調であったことと、モニタリング業務も概ね期初予想を上回ったこと、またその他各部署においても順調に売上を伸ばすことができたこと、更に業務の効率化等による稼働率アップ及び経費の節減努力等により大幅な増益となりました。一方、投資有価証券の評価により特別損失を1億1千万円程度計上しております。

## II. 平成20年9月期の通期業績

### 1. 平成20年9月期通期業績予想の修正

#### (1) 通期連結業績修正予想（平成19年10月1日～平成20年9月30日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
期初予想（A）	20,930	3,205	3,235	1,602	17,924円53銭
今回修正予想（B）	21,594	3,488	3,527	1,705	19,079円46銭
増減額（B－A）	664	283	292	103	－
増減率（%）	3.2%増	8.8%増	9.0%増	6.4%増	－
（ご参考）前年実績 （平成19年9月期）	17,980	2,980	3,042	1,384	15,485円66銭

(2) 通期個別業績修正予想 (平成 19 年 10 月 1 日～平成 20 年 9 月 30 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
期初予想 (A)	12,430	2,052	2,178	1,170	13,091 円 94 銭
今回修正予想 (B)	12,920	2,244	2,392	1,289	14,419 円 67 銭
増減額 (B-A)	490	192	214	119	—
増減率 (%)	3.9%増	9.4%増	9.8%増	10.2%増	—
(ご参考) 前年実績 (平成 19 年 9 月期)	10,891	1,983	2,105	1,079	12,074 円 43 銭

2. 通期業績修正予想の理由

(1) 連結業績修正予想の理由

当社グループの通期連結業績予想は、期初通期予想と比較して若干の上方修正となります。

その理由として、CRO事業を遂行しております当社は、下期において成長に必要な要員確保に関するコスト増（詳細は、個別業績修正予想をご覧ください。）を見込んでおります。

SMO事業を遂行しております株式会社イーピーメントは、下期においても期初予想どおり順調に推移すると見込んでおります。

また、非臨床事業を遂行しているエルエスジー株式会社グループは、下期において受注が軟調となり期初予想を下回ると見込んでおります。

ソフトウェア開発事業を行うオーライソフトウェア株式会社グループは、順調に推移するものと見込んでおります。

これに伴い通期見直し連結売上高 21,594 百万円（期初予想比 3.2%増）、連結営業利益 3,488 百万円（同比 8.8%増）、連結経常利益が 3,527 百万円（同比 9.0%増）になると見込んでおります。

その結果、通期見直し連結当期純利益は 1,705 百万円（同比 6.4%増）になると見込んでおります。

(2) 個別業績修正予想の理由

当社の下期業績見通しとしては、売上高は上期同様に順調に推移すると見込んでおりますが、当社業務の成長に必要な要員の確保という問題があり、採用教育に関する先行投資的費用の増加等を見込んでおります。

その結果、当社の通期における、売上高につきましては 12,920 百万円（期初予想比 3.9%増）、営業利益 2,244 百万円（同比 9.4%増）、経常利益につきましては 2,392 百万円（同比 9.8%増）、当期純利益は 1,289 百万円（同比 10.2%増）になると見込んでおります。

III. その他

上記 I 及び II の予想数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後、様々な要因により、異なる結果となることがあります。

以 上